



プラネタリウムでの展示解説投影の可能性 ～他分野のモノやコトを語る～

うさぎ 井内麻友美

Mayumi IUCHI

The significance of projecting 3D models of exhibits inside the dome for commentary.

—Guiding about things and events in other fields at the planetarium.

没入感の表現を得意とする空間

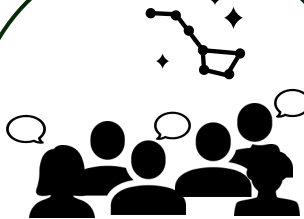
プラネタリウムの利点

存在そのもの
(既に「空間(使える環境)」がある)

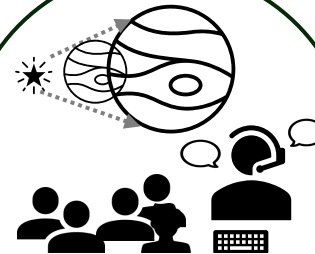
人の
両目での
有効視野角
左右に150~200度



視野が広い
(包み込まれるような)



共有・一体感
見学者が一同に介する
(閉じ込められる)

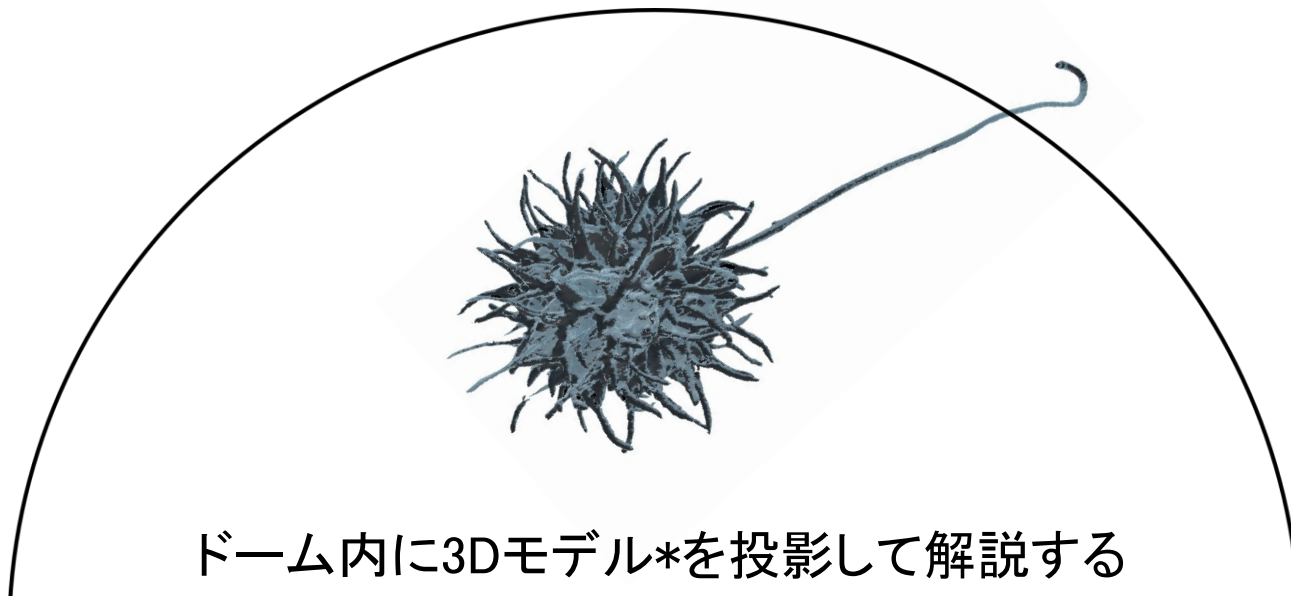


話し手がいる
(操作しながらインタラクティブに)



見学者と話者、見学者とモノとのコミュニケーション「対話」





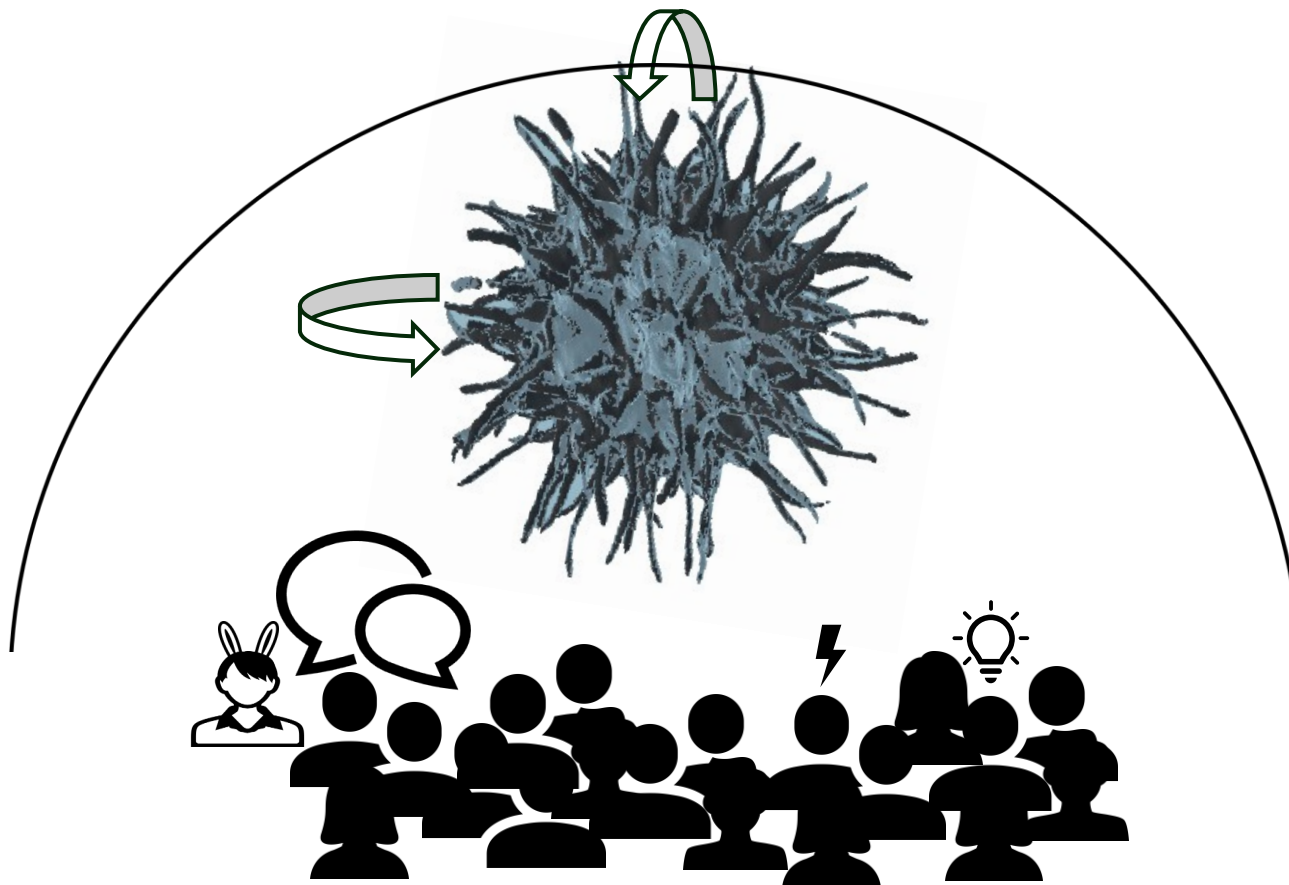
ドーム内に3Dモデル*を投影して解説する

『展示解説投影』

の意義と価値を整理し、その可能性を示します。

* 3Dモデル化された、骨格標本や化石、土器、埴輪、
工芸品、といった各種博物館の資料(展示物)

展示物をドームで解説すると…



見学者にとって、資料に対する新たな視点や
考えを得るきっかけとなりうる

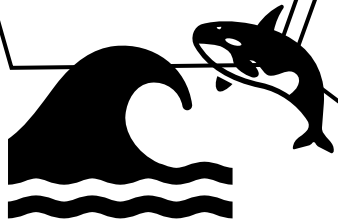
➔ これこそ、
博物館での人とモノの対話（コミュニケーション）

- 1 より多くの
見学者と共に
- 2 一同で
同じもの（対象
物）をみながら
- 3 対象物の大き
さや向きを自
由に変更し
- 4 話者・補助オ
ペレータが、
自在に視線
コントロール
を行い
- 5 資料そのもの
の構造・形状
を、詳細に
観察・体感
できる

プラネタリウム(ドーム空間)は、
元々、**視聴覚メディア**としての
潜在力が備わっている

+

✓
デジタルプラネ
タリウムで表現
の幅が広がった



✓
各種博物館の
デジタル資料
(3Dモデル)も
増えつつある

✓
社会的に
没入感体験
の場面が
広がっている



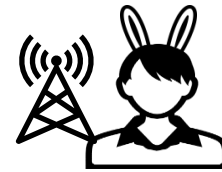
いま、潮流に乗る好機？！
追い風を迎えている状況といえる

プラネタリウム施設でも取り組みを



それで？

なんかいいことがあるのか？



Value

展示解説投影に取り組むメリット

プラネタリウム館職員

プラネタリウムを熟知する
施設職員・投影技術者・解説員

施設運営・管理

館長/施設課長・係長など
施設管理マネジメント

プラネタリウム 番組制作会社

コンテンツ制作者
クリエイター

Merit
いいこと

プラネタリウム館職員

プラネタリウムを熟知する
施設職員・投影技術者・解説員

存在価値が認知される

プラネタリウム従事者の技術により、資料を熟知する他分野の学芸員や研究者に自由自在に語ってもらう環境を整え、**的確なサポート**、事業実施をすることができる。

専門性が活かされる

プラネタリウムの特性を生かした事業や投影プログラムのコーディネート、解説者本人が語るスキルに加えて、ゲストスピーカーのパフォーマンスを引き出す**進行役**(ファシリテーター)を務めることができる。

Merit
いいこと

施設運営・管理

館長/施設課長・係長など
施設管理マネジメント

地域連携・広域連携

- ・ **友好的ネットワーク形成**および強化が可能。
- ・ 連携することで助成金を得るときに「プラネタリウムで」という+ α も主張できる。
- ・ 各自治体における **プラネタリウム存続の意義**や **存在表明**にもなる。

様々な利用者へのサービス提供

文化・教育施設として、天文分野以外のジャンルを扱う様々なイベントを企画実施できる。
結果、**新たな利用者を引き込める**。

Merit
いいこと

プラネタリウム番組制作会社

コンテンツ制作者
クリエイター

素材の更なる商材化

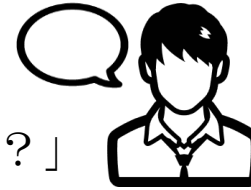
フルドームショーコンテンツ(番組)、ショートクリップとしての販売のみならず、番組制作時に使った**3Dモデル素材**などの販売レンタル等、新たなサービス展開が可能。

クリエイター自身が解説する

作者が制作した素材を活用して、番組制作者自らが語り手となる**コメンタリーイベント**などの企画を提案、実施できる。

Merit
いいこと

「それって、プラネタリウム投影？
星空の世界に差し込むのは難しいのでは？」



「もうすでに投影番組編成はきまってるから、
そんな余地ないです。」

「天文担当なのに、歴史とか動物とか
専門外の知識を習得するのは大変そう…。」



フロアーのみなさんの声
(想像)



Suggest

どうする？／事業案

① まずは ゲストトークイベントとして プラネタリウムでの新しい鑑賞・体験プログラム



講演会

特別展・企画展の記念講演



この銅鐸は大阪歴史博物館蔵の装束襷文銅鐸といって、弥生時代に伝播磨で出土したものです。銅鐸の中も、よう。鈕帯の中には連続した装束襷文が装飾してあり、また、装束襷文で6区に分けられており、鱗から鈕の部分は、であるのがわかります。



トークショー (10～30程度の展示解説投影)

展示室で行う、いわゆる「ギャラリートーク」

「展示みどころ、作品、列品解説」のドームでの展開版

ギャラリートークならぬ 「ドームトーク」

スライドトークならぬ 「3Dトーク」

列品解説ならぬ 「イマーシブ展示解説」

②

次のステップとして…

▼新たな番組(たとえば月一の定例番組)として定番化

▼星空や通常投影プログラムの中に組み込んだ番組構成の検討

展示解説投影の考え方

- ・構想の主軸は、
「3Dモデルデータの利活用」ではない。
⇒いわゆるプラネタリウム番組(フルドームショー)の
素材として扱う方法を考えるのではない。



我々の星空投影の最終目的が、
実天(本物の星空)への誘いであるのと同様に、

3Dモデルを用いた展示解説投影は、
実物(資料・展示物)やリアルな事象への誘い

が目的である。



対象とするモノの本質や深い知識を持つ人(研究者・専門家)が語ることで、「見学者とモノの対話」
の空間を提供する。
《プラネタリウムの特性を十二分に活かせる》



「天文担当なのに、歴史とか動物とか
専門外の知識を習得するのは大変そう…」



伝聞や「語りそのもののプロ」では限界がある。
専門外をその都度習得して語る必要はない。



オペレーションもできる
コーディネーター、ファシリテーターの役割が重要
(これこそ、プラネタリウム実務者がプロフェッショナル)



「天文ではない分野の資料をプラネタリウムの事業へコーディネートするのは、やはりハードルが高いのでは？」

コーナー設定など新たな構成のプラネタリウム投影を創る開発の余地あり、この点もフロンティア。

(みんなでチャレンジしましょう)



「当館にはデジタルシステムがないから、無理だ。」

フルドームの方がより良いが、全く無理とも限らない。一般的なプレゼンテーション用のプロジェクターを持ち込みして投影でもよい。方法は色々あります。

(ごいっしょに考えましょう)



「当館ではすでにやっていますよ！」

わあ～！ぜひ、ご教示ください！

(事例をまとめてみませんか)



「プラネタリウム」「ドーム」を展示空間(視聴覚メディア)と捉え、『何を、いま、できるか？』模索することが重要。



ご興味のある方、交流をしましょう
ぜひご意見ください



3Dモデルを用いた解説投影 in the DOME

背景や趣旨、方法、公開3Dモデル資料情報を
ウェブサイトにもまとめている最中です

内容

目標

背景: 博物館におけるデジタルデータの保存と活用

: プラネタリウムの今

: プラネタリウムと3Dモデル

趣旨: プラネタリウムで3Dモデルを視る

: 3Dモデルを用いた解説投影の提案

方法: 1. 3Dモデルを用意する

: 2. プラネタリウムで3Dモデルを投影する

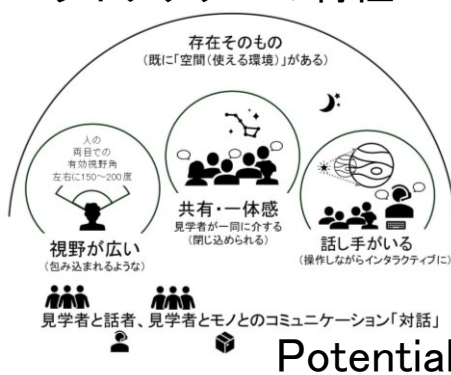
: 3. プラネタリウム(ドーム空間)での活用 他

背景

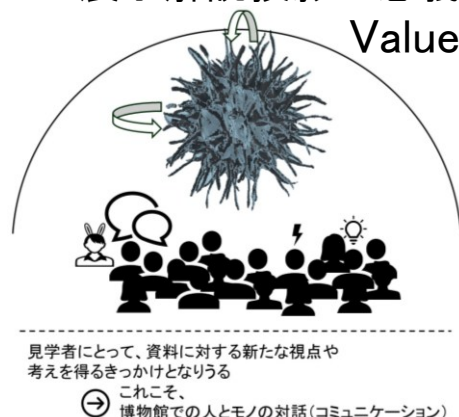
Scene



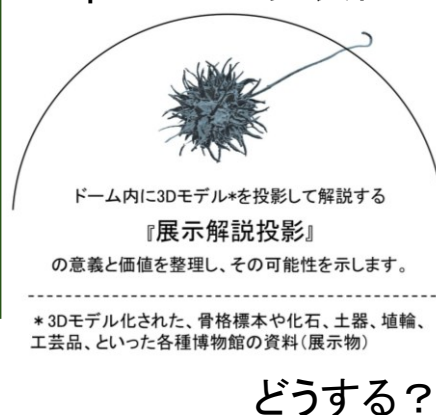
視聴覚メディアとしてのプラネタリウムの特性



展示解説投影の意義 Value



Purpose 発表目的



プラネタリウムでの展示解説投影の可能性 ~他分野のモノやコトを語る~

まとめMAP

井内麻友美(うさぎ) ご興味のある方、交流をしましょう
ぜひご意見ください

プラネタリウム館職員	施設運営・管理
プラネタリウムを熟知する 施設職員・投影技術者・解説員	館長/施設課長・係長など 施設管理マネジメント
存在価値が認知される	地域連携・広域連携
プラネタリウム従事者の技術により、資料を熟知する他分野の学芸員や研究者に自由自在に語ってもらう環境を整え、的確なサポート、事業実施をすることができる。	・友好なネットワーク形成および強化が可能。 ・連携することで助成金を得るときに「プラネタリウム」という+αも主張できる。 ・各自自治体におけるプラネタリウム存続の意義や存在表明にもなる。
専門性が活かされる	様々な利用者へのサービス提供
プラネタリウムの特性を生かした事業や投影プログラムのコーディネート、解説者本人が語るスキルに加えて、ゲストスピーカーのパフォーマンスを引き出す進行役(ファシリテーター)を務めることができる。	文化・教育施設として、天文分野以外のジャンルを扱う様々なイベントを企画実施できる。 結果、新たな利用者を引き込める。
プラネタリウム番組制作会社	
コンテンツ制作者 クリエイター	
素材の更なる商材化	
フルドームショーコンテンツ(番組)、ショートクリップとしての販売のみならず、番組制作時に使った3Dモデル素材などの販売レンタル等、あらゆるサービス展開が可能。	
クリエイター自身が解説する	
作者が制作した素材を活用して、番組制作者自身が語り手となるメンタリーイベントなどの企画を提案、実施できる。	

Merit
いいこと

展示解説投影に取り組むメリット

3Dモデルを用いた
解説投影
in the DOME

背景や趣旨、方法、公開3Dモデル資料情報をウェブサイトにもまとめている最中です

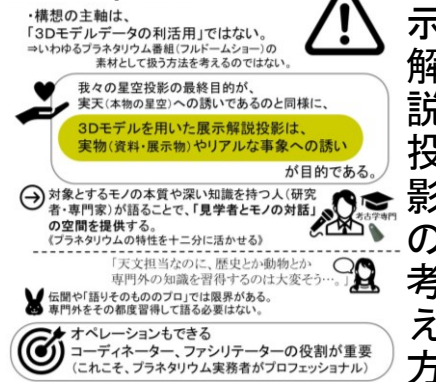
内容	目標
背景	博物館におけるデジタルデータの保存と活用 : プラネタリウムの今 : プラネタリウムと3Dモデル 趣旨: プラネタリウムで3Dモデルを見る : 3Dモデルを用いた解説投影の提案 方法: 1.3Dモデルを用意する : 2.プラネタリウムで3Dモデルを投影する : 3.プラネタリウム(ドーム空間)での活用 他

本研究は、JPA全国研修会2024・富山「3Dデータ活用コース」受講をきっかけに取り組み始めました。富山市科学博物館学芸課の皆様、研修会スタッフ・参加者の皆様に感謝いたします。

Suggest



Viewpoint



展示解説投影の考え方